

# 一般質問

## 中根 光男 議員

**Q** 国の緊急経済対策による当市の計画は

**A** 美並小・下稲吉中の  
太陽光発電施設の設置等を予定

**Q** 国の緊急経済対策に盛り込まれた公共事業は、防災・減災対策の事業が中心となっている。自然災害の脅威は深刻であり、インフラの老朽化対策は急務である。当市の計画について伺う。

**A** 市長公室長 現在のところ、美並小学校と下稲吉中学校の太陽光発電施設の設置、下稲吉中学校と南中学校のトイレの大規模改修、また路面性状調査業務委託や橋梁長寿命化点検委託、道路改良工事など11事業であります。

**Q** 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが、今年4月から新たに定期接種化されることになった。感染症対策が大きく前進すると期待をしているが、その認識と周知方法について伺う。

**A** 保健福祉部長 子宮頸がん、細菌性髄膜炎を予防する上で、接種年齢時に適切に接種していただくことで3ワクチンは有効であると考えております。今後、個別通知や乳児健診時、健康相談時、さらには広報紙や各戸配布の予防接種案内などで周知を図ってまいります。

### 質問事項

- 1 子宮頸がんヒブ小児用肺炎球菌ワクチンの定期接種について
- 2 政府が緊急経済対策を盛り込んだ今年度補正予算に対する事業計画について
- 3 健康相談事業として携帯型の簡易聴覚チェッカーを用いた聴力検査について
- 4 地域の防災力向上について
- 5 胃がん予防にペプシノゲン検査導入について



▲美並小学校

## 小松崎 誠 議員

**Q** オーダーメイドの賃貸型工場で地域経済の活性化を

**A** 企業進出の話があれば関係各課と協議し対応

**Q** 自治体が賃貸型工場を設置して企業誘致に成果を上げている事例がある。これは未利用地の利用促進や地元の雇用促進等、地域経済の活性化も期待できると考える。そうした中、従来型ではなく、オーダーメイド方式の賃貸型工場の認識と取り組みについて伺う。

**A** 環境経済部長 企業のニーズに合わせた造成を行うことにより、柔軟に対応した用地確保や基盤整備が進められるような未整備地区の土地利用を、計画していく手法との認識です。今後、当市でも企業進出の話があれば、関係各課と協議しながら対応していきたいと考えております。

**Q** 昨年12月、東京都調布市の小学校で、乳製品にアレルギーのある児童が給食を食べた後に死亡するという悲しい事故があった。死因は、アナフィラキシーショック死の疑いとのことである。当市の対応と防止策について伺う。

**A** 菅澤教育長 食物アレルギー疾患を持つ児童・生徒については保護者と話し合い、給食の食材の除去、弁当の持参などにより対応しております。ショック症状の恐れがあるため、医師からエピネフリン製剤を交付されている児童・生徒がいる場合には、教職員が適切な対応がとれるよう意識を高めてまいります。

### 質問事項

- 1 子ども・子育て支援関連3法について
- 2 給食アレルギー事故防止への取組み強化について
- 3 通学路の安全対策について
- 4 かすみがうら市環境美化に関する条例について
- 5 当市における公文書管理の取組みについて
- 6 水道事業について
- 7 企業誘致への考え方について
- 8 障がい者優先調達推進法の施行について



▲学校給食

**Q** 放射線のきめ細かな測定と除染の取り組みは

**A** 雨樋下や水溜りを追加、1cmでの測定も実施

**Q** 放射線被ばくは、少量であっても将来、健康被害が起きる可能性があります。今は雨によって低い所に流され、土壌に濃縮して蓄積しており、放射線のきめ細かな測定を継続することが必要と考える。学校での取り組みについて伺う。

**A** 教育部長 各学校では、冬休み中に、これまでの測定箇所に加え、雨樋の雨落ちや水溜りとなる場所などを追加しました。また、測定位置も、これまでの50cmと1mに加え、1cmを追加し、基準値を超えた箇所は、除染や立入禁止措置をしております。なお、測定と除染の結果は、学校ごとの測定値マップの作成、学校により等で情報提供しております。

**Q** 防犯灯補助金の見直しと、設置基準の策定について伺う。

**A** 宮嶋市長 現在、行政区に属さないものは市で設置をし、行政区内は各区に設置をお願いしております。地域により行政区の形態や住宅密集度が異なること、通行量の違いなどから、行政区内の設置は、行政区の実情に合わせることが、より公平で効果的であると判断しております。

防犯灯の設置基準については、今後、検討してまいります。

質問事項

- 1 放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る総合対策について
- 2 下土田の残土問題について
- 3 総合的な子育て支援策について
- 4 国民健康保険を命と健康を守る制度に
- 5 生活保護基準の引き下げについて
- 6 安心・安全な街づくり（防犯灯と生活道路）について
- 7 向原土地区画整理組合事業について
- 8 水道事業について（主に水道料金問題について）



▲放射線量測定器

**Q** 防犯・防災の観点から空き家等管理の方策は

**A** 対応強化を図るべく調査・準備を進めています

**Q** 空き家等が一定の管理がされていない場合、防犯・防災の観点から、市民生活に非常に不安を及ぼすものと思います。市では、具体的にどのような方策を講じているのか、お伺いします。

**A** 宮嶋市長 市民から苦情があった際には、所有者が特定できる場合、空き家の適正管理について文書による注意喚起を行っております。現在、より一層の対応強化を図るべく、（仮称）空き家適正管理条例の制定に向け、調査、準備を進めているところであります。

**Q** 独居老人や高齢者のみの世帯が増加していますが、見守り活動をする体制はできているのか、お伺いします。

**A** 保健福祉部長 高齢者、障害者宅の異変を感じたときは、市役所へ通報をいただけるよう、昨年10月に「いばらきコープ生活協同組合」「生活協同組合パルシステム」の2社と、本年2月には「第一環境株式会社」と協定を締結しました。また「土浦郵便局」「石岡郵便局」には依頼をしました。今後は、多様な主体と連携をしていくとともに、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、見守りの仕組みづくりに努めてまいります。

質問事項

- 1 市民が心豊かに安心して暮らせるようにと策定された「がすみがこら市地域福祉計画」について
- 2 防犯や街の景観に影響する廃屋・空き家等の放棄物件について
- 3 女性の管理者登用について

